

薩摩川内市次世代エネルギービジョン(案)に係るパブリックコメントの結果

平成25年1月16日

薩摩川内市

【実施期間】 平成24年12月10日(月)～平成25年1月9日(水)

No.	意見		対応	
	箇所	内容	方針	内容
1	本文P47 テーマ2の3)	「EVバス、EVタクシー等」とあるのは、「電気自動車(EV)を使用したバス、タクシー等」としてはどうか。	一部修正	難しい用語や略語等については、注釈を付けるなど分かりやすい表記とします。
2	—	川内原子力発電所展示館、寄田町の太陽光発電施設、建設予定の風力発電所などを観光ルート化し、環境学習の場としてはどうか。	原案のとおり	「7. 具体的な取り組み例」に関し、本市特有の観光スタイルの創出と育成(テーマ8)を掲げ、産業観光ルート化することを検討していきます。
3	—	無駄に放出しているエネルギーを、上手に電気エネルギーとして蓄え、日常生活の電気エネルギーとして活用してはどうか。	原案のとおり	「7. 具体的な取り組み例」に関し、エネルギーの使い方に配慮した生活様式の確立(テーマ3)、エネルギーの市民意識の向上(テーマ4)、市民の活力によるエネルギーの自給自足モデルの構築(テーマ5)を掲げ、地域内で展開できるモデルを検討していきます。
4	概要版P1 本文P3～7	「我が国のエネルギー政策の改革の方向性」に関する記述については、自民党政権となりエネルギー政策が大きく見直されることとなる。 国の方向性の記述を削除し、薩摩川内市の方向性に限ったビジョンにするか、国の平成24年度補正予算・平成25年度予算方針を見てから決めてはどうか。	可能な範囲で 加筆	本市としては、国のエネルギー政策の方向性に沿って、具体的施策を講じることを基本としており、当該記載ぶりについては、可能な範囲で最新のものとします。
5	—	ビジョン(案)にあるように、公共機関が率先して太陽光発電設備などを設置し、個人の設置を進める補助金を増額すべき。 また、ビジョン(案)にあるように、電力の地産地消を進め、危険な原発を減らす努力をし、「人の命」を何より大事にする行政を目指してほしい。	原案のとおり	電源立地地域である本市では、次世代エネルギーの積極的な利活用や既存エネルギーの賢い使い方を通じ、地域の特性を生かした新しいモデルの構築を目指していきます。 ご指摘の補助金の増額についても、今後、検討していきます。